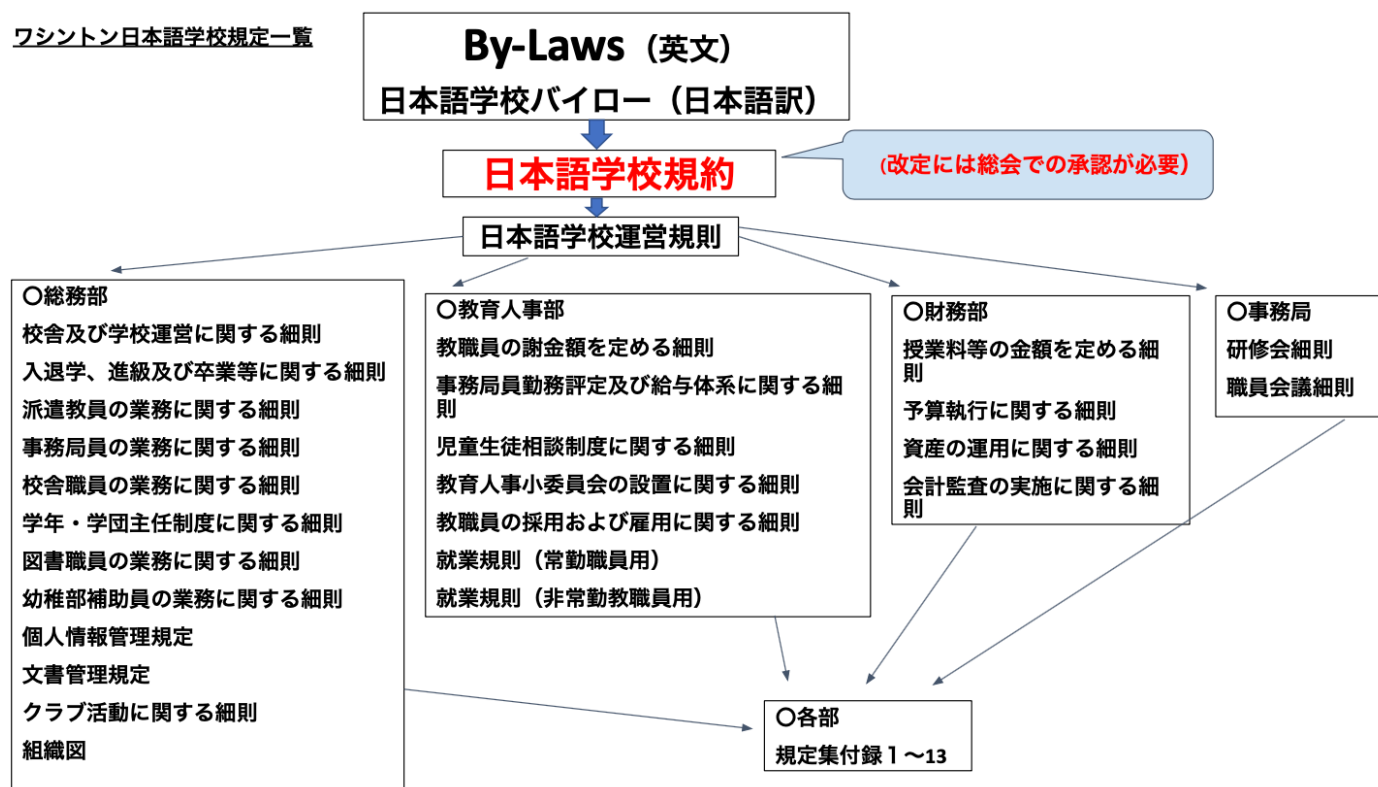




【発表】特別総会は 4 月 17 日です

2021 年度の特別総会が 4 月 17 日 (土) 午後 7 時に開催されます。来週には保護者の皆様へ開催通知をメール配信いたします。今回も事前登録や議決権委任の手続きにご協力くださいますようお願い申し上げます。今回の総会では昨年と同様、管理運営委員会で議論されている重点事項を中心に報告・発表を行います。また、2021 年度予算の審議や対面開校時の保護者役割の説明も行われます。総会の皆様からご意見やご提案をいただく貴重な機会です。奮ってご参加いただけますようお願いいたします。総会についてのご質問は uneiiinkai@wjls.org までお寄せください。

【募集】次期管理運営委員および IT サポート募集

現在、管理運営委員会では運営委員として学校運営に携わって頂ける医療従事者 (医師) を募集しています。

管理運営委員会での役割は、所属部署業務の他に、特に今後の対面開校のための安全プロトコル作成への助言を含め、本校の安全保健対策方針に対して医療従事者の観点から運営委員会での提言や事務局業務への助言をしていただくことです。業務に医療行為はありませんので、アメリカの医師免許は必要ありません。

また、zoom オンライン授業時に教員や保護者からの問い合わせに対応して頂ける IT サポートチームメンバー (学校保護者役割) を引き続き募集しています。業務内容は授業日に事務局と協力しながら、教員や保護者からの IT 関連の問い合わせに対応することです。パソコンやタブレット、スマホなどの操作に慣れている方であればこなせる業務で、担当頻度は 10-12 授業日あたり 1 回程度の予定です。

ご興味のある方はお気軽に運営委員会 (uneiiinkai@wjls.org) までお問い合わせください。



最高のチームワーク：コロナ禍のワシントン日本語学校（副委員長 米下和宏）

ワシントン日本語学校でオンライン授業が始まってまもなく1年が経ちます。毎週土曜日に子供をストーンリッジ校に送り迎えしていたのがずいぶん昔のこのようです。新型コロナウイルス感染症は、我々の生活や仕事に大きな影響を及ぼしています。これは日本語学校に対しても同様であり、オンライン授業などの新しいチャレンジに取り組んできました。対面授業と比較するとオンライン授業には物足りないところがあるのは事実ですが、この難しい局面で、過去1年に日本語学校が達成してきたことは素晴らしいと思います。先生方の工夫を凝らした授業に加え、管理運営委員会はオンライン環境の構築、調整、保護者説明会・アンケート、図書館の再開など、多くのことを達成してきました。私は、昨年10月から運営委員会の活動に携わっているのですが、半年間参加して感じた率直な感動を今回共有させていただきたいと思います。



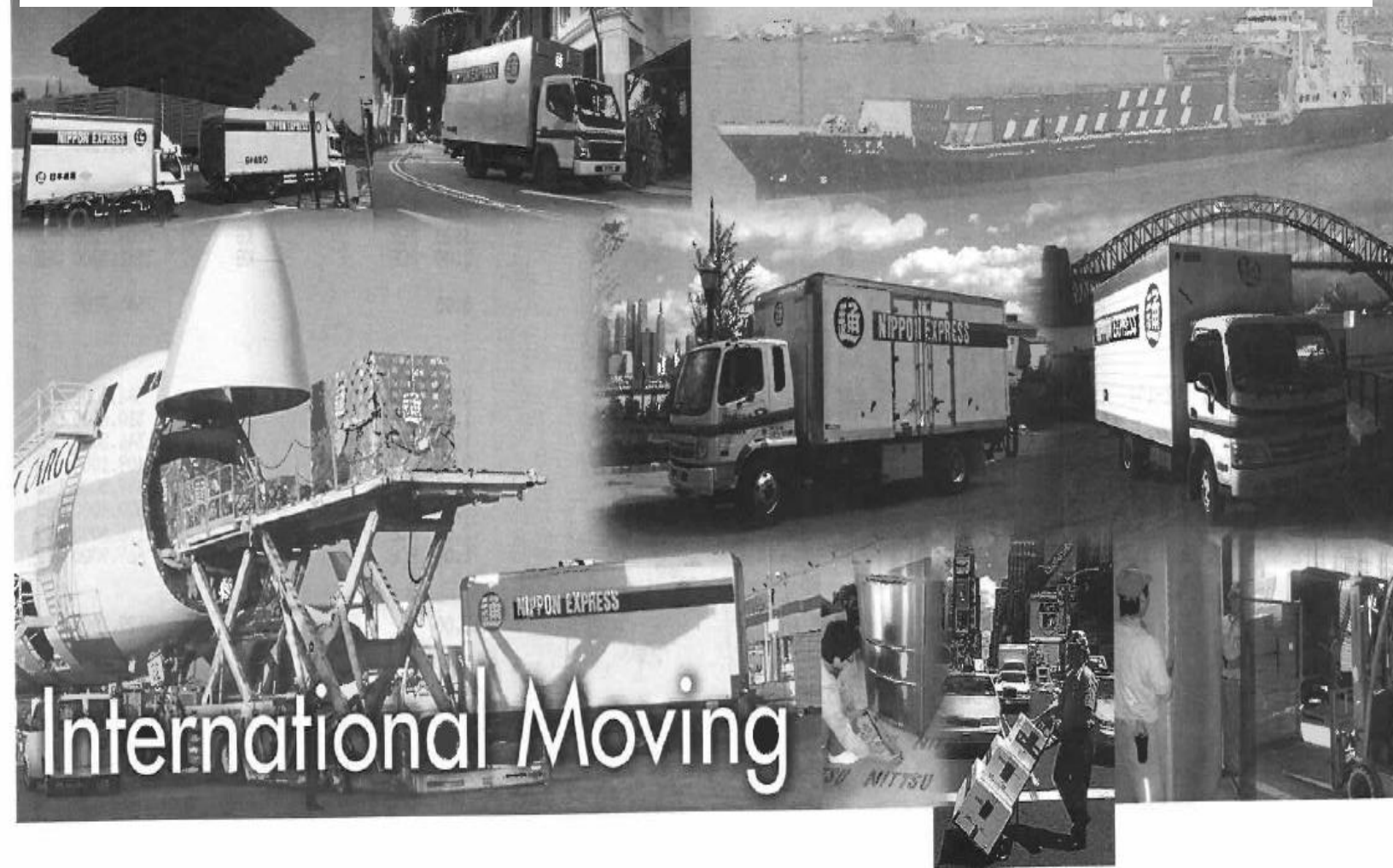
3月6日管理運営委員会の様子

日本語学校は、保護者、学校、管理運営委員会の3者の協力と責任分担によって運営されています。教育は、校長先生、教頭先生及び教員とそれを支える事務局の学校側が主に実施しています。一方で学校運営においては、管理運営委員を中核とする月1回の管理運営委員会で意思決定が行われます。委員は保護者から選出された委員長・副委員長と総務・財務・人事教育・広報の機能別の委員、保護者代表である学年代表で構成されています。委員会での議題は参加者が任意で提議し、委員会での討議・意思決定を経て、学校の方針として実行されます。例えば、重要テーマである対面開校時期の決定においては、感染状況などの情勢を踏まえて、保護者アンケートによるニーズ把握、開校のための方針・条件の設定、開校時の安全対策の検討、ストーンリッジ校との調整など、それぞれのタスクを各人が主体的に検討して、委員会に提議することで話し合いを進めてきました。

委員会の特徴は、各委員が平等であり、メンバーの信頼関係に基づいた話し合いの場であることが挙げられます。それぞれの立場や経験に基づいた考えが共有され、総員がそれに耳を傾ける。そこには、教育に対する思いなどの情動的な面、財務・人事管理といった学校運営のための実務的な面の両方が混在し、意見が集約されにくい場面もあります。しかし、意見の相違はあっても、その背景を共有し合うことで、自然と総意に近い形で結論がまとまっていく協調的な合議スタイルで行われています。この文化、チームワークは、極めて優れたものだと感じています。委員は、ボランティアでありながら、平日も土日にかけても相応の業務負担をこなしています。それでも、各人が主体的に参画しているのは、自分の子供の教育のためだけでなく、もう少し大きな、日本語話者コミュニティに対して貢献したい気持ちや将来を形作る生徒達への責任感のようなものがあるからでしょう。私自身も、やりがいがあり、自分の勉強にもなり、そして何よりも、やっていて面白いと感じます。

最後に、今後も対面授業再開、再開後の感染症対策、国語力向上ベーシックプラン、在生徒の多様化によるニーズの変化への対応など、引き続き多くの課題に取り組む必要があります。将来、世界を舞台に活躍する生徒達のためにも、保護者、学校、管理運営委員会が一丸となって取り組み続けることが大切です。一方で、そのための理想的なチームワークが日本語学校に整っていることは大きな利点であり、今後の取り組み、日本語学校の更なる発展が楽しみです。皆様には引き続き日本語学校に対するご支援とご協力をお願いするとともに、学校運営に主体的に関与できる機会があるということをご承知いただければ幸いです。

帰国の際の引越しは、日通にお任せ下さい



海外からの帰国にピッタリな引越しプラン

スタンダードサービス: 梱包から大型家具の輸送までお客様のニーズにお応えします。

スモールパッケージサービス: お荷物の少ない方にお勧めのお得なパッケージサービスです。

お申し込み、お問い合わせは米国日本通運ワシントン支店まで

アンガーマネジメント講演会のお知らせ（広報部）

コロナ禍が続く中で日々の生活で感じる怒りと、アンガーマネジメント（「怒り」の感情をコントロールするスキル）を通して上手に付き合いませんか？この度広報部では日本におけるアンガーマネジメント普及の先駆者である「日本アンガーマネジメント協会」の公認コンサルタント、ポールソン真美先生を講師にお迎えして講演会を開催します。アンガーマネジメントの基礎と共に、自分も相手もストレスを溜めない考え方や、怒りに対する具体的な対処法を学ぶ絶好のチャンスです。

開催は、zoomにて2021年5月15日（土）午後4時半～5時半頃を予定しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。ご質問、ご意見等は、広報部(koho@wjls.org)までお寄せください。

全校アンケートにご協力いただきありがとうございました（教育人事部）

1月から実施した全校アンケートには、多くの皆様が回答を寄せてくださいました。お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。アンケートの結果を本校ウェブサイトに掲載いたしました。保護者ページ(<http://www.wjls.org/parents/>)【アンケート結果報告】から保護者、教員、生徒の対象別に回答結果をご覧いただけます。アンケートの自由回答欄にお寄せいただいたご意見は基本的に公開せず、担当者や担当部署に提供し活用させていただきます。全校アンケートについての質問は教育人事部(kj@wjls.org)までお寄せください。

委員長からの報告

昨年度に引き続き、新年度もオンライン授業でのスタートとなりました。しかしながらコロナワクチンの接種が広まるにつれ、現地校では徐々に対面授業が開始され、マスクを付けながら元気に登校する子供達を見ていると、こちらもなんだか嬉しくなってきます。日本語学校も8月の対面授業再開を目指して準備を進めて参りますので、今年度も学校運営に協力していただけますよう、よろしくお願いします。

さて3月の運営委員会では、新・中期運営方針についての修正、2021年度の予算案・保護者役割・放課後活動について、次期学年代表の選出、派遣教員関連の規定改正、そして全校アンケートの結果報告など多岐にわたる長い話し合いが行われました。そして森校長が参加する最後の運営委員会ともなりました。教育現場での雇用状況改善、教育方針の抜本的改革からコロナ禍での学校運営、そしてモリック先生の社会科授業まで、八面六臂でこの2年間ワシントン日本語学校を支えていただきました。日本語学校を代表して今一度お礼を申し上げます。「森校長先生、2年間、本当にありがとうございました！」

.....

委員長：	松井俊久
副委員長：	米下和宏
総務部：	渡辺政志（部長）・金杉沙織・ジャコブソン彩子・辻川扶紀・邊田寿俊
財務部：	野崎仁宏（部長）・大塚晴久
教育人事部：	ベイカー浩子（部長）・小野莉彩佳・加藤智之・金城由佳子・寺林武
広報部：	ミトリック理香（部長）・小寺友美
学年代表：	大根陽一郎（低学年代表）・森山妙子（中学年代表）・バンダイクゆり（高学年代表）

.....